2013−2014年度
最終号
No.1174号

広島西南ロータリークラブ会報

最終夜間例会（裏表紙に関連記事）

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

2013-2014 RI theme
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

会長メッセージ

学んで　楽しもう　ロータリー

田 中 茂 樹

この一年間本当にお世話になりました。まさか自分が会長になるとは、38歳で入会以来多くの会員の活動を見て、よく役目をされるなと自分にはとても無理であるとの考えがずっと続いての23年間の在籍でした。

仕事も全国へ拡大して、出張で時間が取れなくなり、ご指名を頂いた時には、全く考えていなかったので、とても無理だと思っておりましたが、入会時期の近い曽里直前会長より、是非頼むとの事で、お世話になっている曽里さんのお言葉ですから、とうとう引き受ける事となりましたが、すぐに幹事、副会長、理事役員、委員長を決めなければならないという事で、杉川会員が幹事を引き受けて、お願いしてくれたおかげで、役員の皆さんが決定し、一応組織が出来ました。

それから会長方針、会長研修と慣れる事から始まり、副会長、幹事、副幹事、理事役員、委員長、皆さんのご協力により、夢にみた本日最終例会を無事迎える事ができました。例会出席だけではわからないロータリーの仕組み、本当の活動が少しずつ理解でき、仕事や考え方が少しずつ変わってきたのではないかと思いますが、一番変わったのは、人は生きているのではなく、生かされているのだという人の様に、会長は、自分がやっているのではなく、皆様にさせてもらえているのだと痛感した事です。

頼りない会長でしたが、一年間本当に貴重なお時間、費用を頂戴し、支えて頂きまして本当にありがとうございました。次年度は林本会長に変わりますが、引き続きよろしくお願い致します。ありがとうございました。厚く厚く感謝申し上げ、退任の挨拶とさせて頂きます。

6/3 第1320回例会

12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

▶国歌斉唱　われらの生業

▶お誕生月記念記念品贈呈

佐藤　克則　６月１日
平石　雅史　６月３日
對馬　久子　６月10日
谷口　公啓　６月12日
宮﨑　　真　６月17日
折本　　緑　６月23日

▶連続出席100%

吉田　栄壮会員（23年）
佐古　雄司会員（３年）

▶会長時間

皆さんこんにちは。来訪者の皆様ようこそお越し下さいました。ゆっくりと例会をお楽しみ下さい。

今日は過ごしやすい日になりましたが、先週は全国的に30度を超すような日があり、「今年の夏も猛暑か」といささかうんざりされたのではないでしょうか？

ところで、「○○の記念日」というのがあります。ほぼ毎日、何かの記念日になっておりまして今日６月３日は「測量の記念日」であります。1949年６月３日に測量に関する法律が制定されたことを記念しているそうです。ただ、毎日、何かの記念日と言われても、「２月10日」の「ふとんの日」とか、「５月29日」の「こんにゃくの日」とか、語呂合わせの様な記念日もありまして、真剣に考えておりましてもキリがありません。

ただ、年に何回かは、その記念日を期に、そのこと、そのものについて、改めて考えてみようという日もあります。私が前から気になっておりました記念日は、ちょうど１週間後の６月10日です。皆さんの中で、６月10日が何の記念日か、ご存じの方はいらっしゃいますでしょうか？

「時の記念日」であります。「時間を大切にしよう」「今、現在というのは２度と戻ってこない」など常日頃、思っていてもつい時間を無駄使いすることの多い私たちにとっては「時の記念日」というのは時間について考えさせてくれる、よいきっかけと思っております。時間には自分の持ち

時間だけでなく、世界を流れる時間もあります。世界あちこちを飛び回っている知人から少し面白い世界の時間あれこれを聞きましたので、ご紹介致します。

世界を移動しますと、もちろん時間が日本とは異なっております。出張や旅行で外国の街に降り立ちますとまず、時計を現地時間に修正します。日本の正午はロンドンでは午前３時、香港では午前11時といった具合です。時差はあっても各地の時間は12時00分、３時00分といったように分刻みのところは一致している、と私は思っておりましたが、言葉は悪いですが、世界には少しひねくれた土地もあります。そのひとつはインドでありまして、日本の正午はニューデリーでは午前８時30分であります。つまり時差は３時間30分ということです。最近、日本企業の進出ブームが起きておりますミャンマーも同じように30分のずれがあり、日本の正午はヤンゴンの午前９時30分であります。中途半端で日本と連絡を取るときに日本時間を思いつくのが大変、面倒くさいものです。

しかし、上には上がありまして、ネパールはインドからさらに15分のずれがあります。日本の正午はネパールの首都カトマンズでは午前８時45分であります。こうなると日本時間を計算するのもいやになります。時間は暦や宗教とも関係しますので、地域性があるのはわかりますが、グローバリゼーションが進むと、こうした時間の多様性、個性というのは不便にみえてくるわけです。

もうひとつ世界の時間で面白いのは国内時差です。米国は東部標準時や中部時間、山岳時間、太平洋時間など本土だけで４つの時間帯があります。東西4500キロもあれば当然そうなります。陸地面積で世界最大のロシアは東西方向がベーリング海の島からバルト海沿岸まで約１万キロありまして、時間帯は９つもあります。同じ国のなかに時間帯がいくつもあるのは不便ですが、夜明けや日没など生活のベースを考えますと、それぞれの時間帯を設けざるを得ないわけです。ところが米国と同じほどの東西の長さがありながら時差のない国があります。中国です。中国は日本と同じように国内を１つの時間帯に統一しておりますが、東西では5000キロ近くありますので、北京で朝９時に会社や役所が始業しても、最も西の新疆ウイグル自治区ではまだ夜中で、夜空に星が輝いているそうです。しかし、北京の役所が動き出すと、新疆ウイグルでも仕事は始めなければならないそうで、大変な苦労をしていると聞きました。時差をなくしたのは「ひとつの中国」という団結を示す狙いだそうです。

こうやってみますと、日本はひとつに時間帯でも北海道から沖縄まで夜明けや日没が多少ずれていてもそれほど不便なく各地とも暮らしており、ありがたいことだと思います。来週の「時の記念日」まで、皆様も時間について何かお考え頂く機会になればと存じます。

➢幹事報告

ロータリーの友誌・ガバナー月信配布の案内。／次年度会員手帳校正版・最終夜間例会案内回覧の案内。／例会終了後、理事役員会開催。

➢委員会報告

広報雑誌委員会

ロータリーの友５月号を読んで

橋本　幸範会員

５月号では、特集の私たちの活動という横組みの特集で、全国の各クラブの地域における奉仕活動の事例が取り上げられ、その中で当クラブが２月に実施した津田子どもの家とのボーリングと食事マナー研修の活動報告の記事が掲載されました。このような特集が組まれることを知らずに投稿したものですが、地域社会でのロータリークラブの活動の事例として全国的に紹介される機会となりました。

さて、５月号の記事で興味深かったのは、36頁からのロータリー入門の「会員増強の懸命な取り組み」という記事です。世界の会員数は、この10年がほぼ横ばいで、入会者と退会者がほぼ同数という危機感から、ＲＩでは費用を掛けて会員増強の取組を行っており、会員が増えている各国での様々な活動が紹介されています。例えばドイツでは、会員の家族にも満足感があるような活動を行っており、インドでは新会員を紹介したロータリアンの表彰を行ったり、二代目のロータリアンの参加を推進したりしているそうです。その記事には、過去10年間で最も会員が減少した国として５カ国の数字が出ていますが、その中で最も減少率が高いのが日本でマイナス21パーセント、イギリスが16％、アメリカが15％でした。日本は増加より維持に努めなければならない状況が顕著です。その記事にはバートンＲＩ会長のインタビューも紹介されていますが、クラブで何もすることがなかったので退会しようとしたところ、委員長になるように頼まれたのでクラブに残った、という経験をお話しされ、自らの経験に基づいて、積極的

な参加の機会が鍵であると説明されています。
　今後のクラブ運営の参考になればと思いご紹介します。

➢出席報告

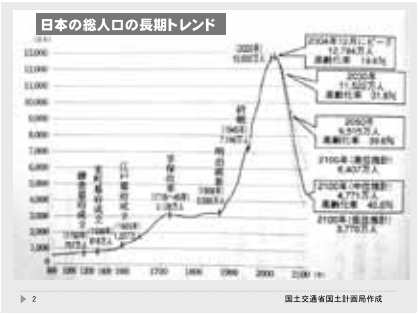
会員数 62名　出　席 51名　欠　席 11名
　　来　客　3名　来　賓　1名

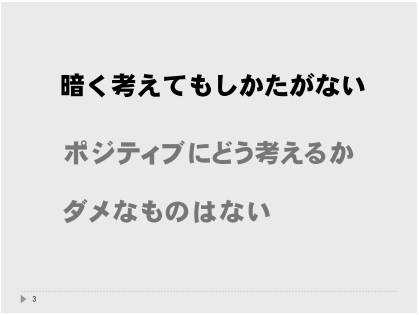
➢プログラム

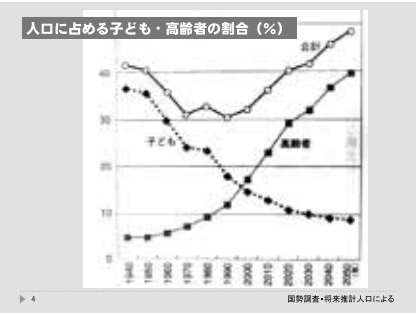
外部講師卓話

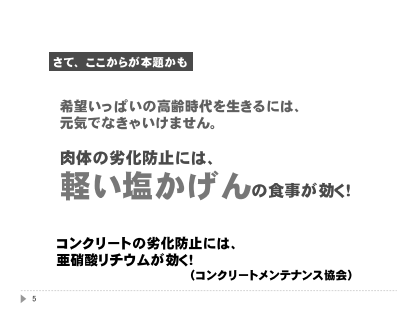
「高齢社会という希望」

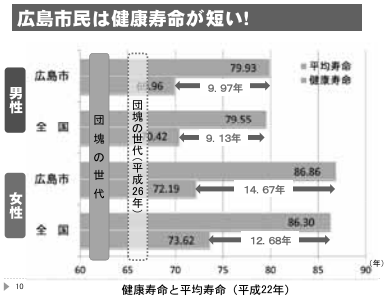
広島市佐伯区長
国本　善平氏

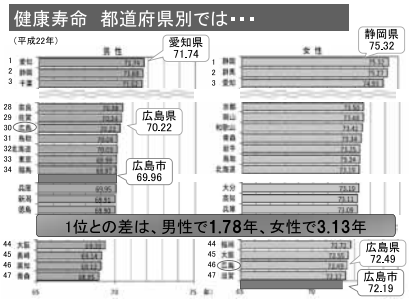


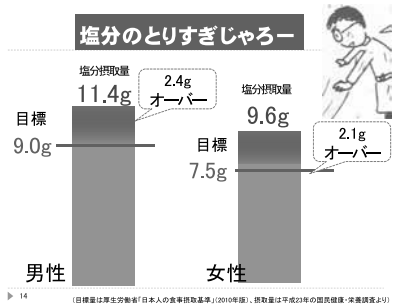


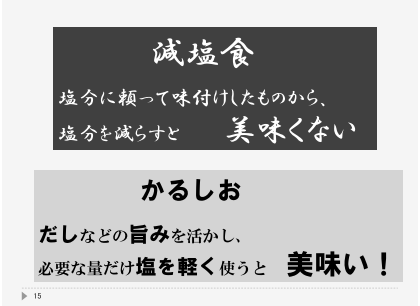


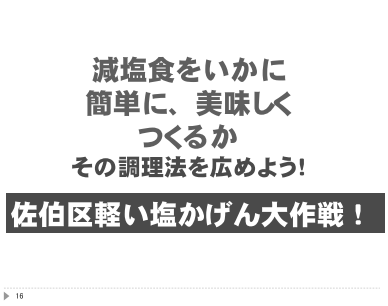


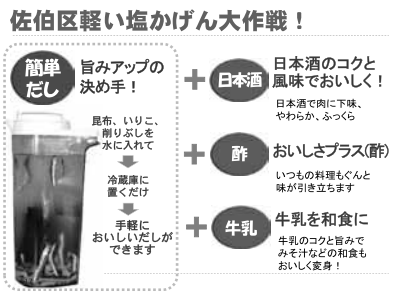


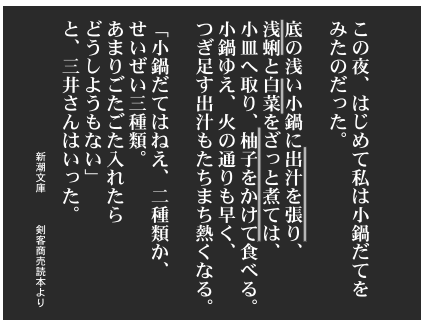


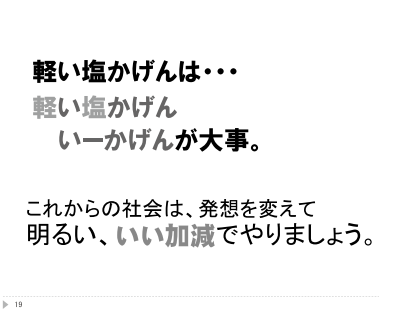


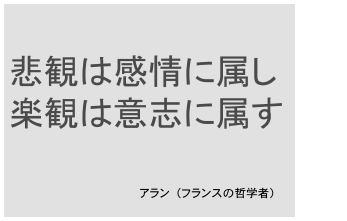


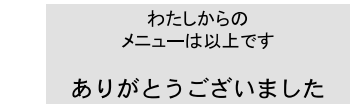












6/10 第1321回例会

12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

▶奉仕の理想

▶ご結婚記念月記念品贈呈

俵　　雅之会員　５月１日
先小山英夫会員　５月１日
末廣浩一郎会員　５月８日
久保慎太郎会員　５月10日
遠崎　秀一会員　５月20日

▶会長時間

皆さんこんにちは。来訪者の皆様ようこそお越し下さいました。ゆっくりと例会をお楽しみ下さい。

さて、先日中国地方も梅雨入りしました。「恵みの雨」とはいえ、うっとうしい季節になりました。その一方で、いよいよサッカーのワールドカップが日本時間の13日に開幕します。スポーツの祭典といいますと、オリンピックと思いがちですが、世界中でテレビ中継を視る人の数は実はオリンピックよりもサッカーのワールドカップの方が多いそうです。実質は世界で最も関心を集めるスポーツの祭典がワールドカップと言っていいかもしれません。サッカーがプレーされない国というのは世界にないのではないかと思います。

さて、出場する32カ国を見渡しますと、意外なことに気がつきます。人口大国の中国とインドが出ていないからです。両国ともアジア予選で敗退しているからですが、歴史的にもまだ出場経験がありません。中国は国を挙げて、スポーツを振興し、オリンピックのメダル獲得では21世紀に入って、トップに立つようなスポーツ大国になりましたが、サッカーは弱く、ワールドカップには届かないのが現状です。インドはサッカーの発祥の国である英国の植民地ですから古くからサッカーはプレーされておりましたが、どうも国民のサッカー熱は低く、強くはありません。

ただ、余談ですが、インドは1950年のワールドカップのブラジル大会に出場するはずでした。といっても、予選を勝ち抜いたわけではありません。当時のアジア予選は「焼け跡」から復興中の日本はもちろん､多くの国が参加する余裕がなく、インド以外の国予選に参加しなかったり、途中で棄権したため、戦わずして出場権を得たのです。ところが、結局、ある理由で参加できませんでした｡理由は裸足です｡インドチームは裸足でプレーしていたため、ワールドカップでもシューズを履くことを拒否し、FIFAが危険とみて出場を認めなかったそうです。

話しが思わぬところに飛びましたが、今回のブラジル大会の特徴は人口小国の出場が多いことです。出場国で人口が最も少ないのはウルグアイで340万人、続いてボスニア・ヘルツェゴビナも380万人です。その他、クロアチアが430万人、コスタリカが480万人、スイスが800万人など人口が1000万人に満たない国が５カ国も出場しております。

ウルグアイで言えば、広島県と島根県の人口を

合わせたほどの人口で、ワールドカップに出ているわけですから、すごいことだと思います。そのほかを見ましても、日本と対戦するギリシャは1100万人、優勝候補にもあげられるポルトガルが1050万人、同じく強豪のオランダも1680万人ほどの人口にすぎません。

スポーツといいますと、多数の人口の中から才能や身体能力を持った人が見出され、エリートとして訓練されて、強くなるというイメージがありますが、サッカーをみておりますと、人口規模があまりものを言わないことがよくわかります。やはり、指導者の力、戦術や戦略、チームプレーをする能力などが重要になってくるわけでしょう。

先日、ＮＨＫの番組で前回のワールドカップ南アフリカ大会で優勝し、現在、世界ランキングNO.1のスペイン代表チームのことを採り上げていました。興味を持ったのは、チームの司令塔で「針の穴を抜く」といわれる精度の高いパスでチャンスを切り拓くシャビ選手とゴール前でディフェンダーに囲まれながらも巧みなドリブルと機転で、チャンスを創り出すポイントゲッターのイニエスタ選手がともに身長170センチと欧州チームでは小柄だったということです。その２人がともに語っていたのは、「サッカーは頭脳が８割、肉体は２割のスポーツ」ということでした。試合の組み立て方、敵の一瞬の隙を突く機敏さ、自分の手柄のためではなくチームとして戦う協調性など、サッカーはまさに知恵と人間力の勝負だな、と感心致しました。

考えてみれば、これは企業も組織も同じであります。華やかなキャリアを持つ人を集めても、業績が上がるわけではありません。個々の人が知恵を絞り、同じ目標に向かって協調しなければ、実績は出ません。サッカーはいろいろなことを教えてくれるようです。

日本のワールドカップは15日10：00のコートジボワール戦から始まります。

（林本正継副会長による代読）

❯幹事報告

広島安佐ＲＣからＤＶＤ「語り継ぐ～高校生による被爆者証言取材プロジェクト～」到着。／最終夜間例会案内を回覧。未回答者は回答を。／例会変更。／６月17日例会プログラムは委員長退任挨拶、６月24日は理事役員退任挨拶。対象者は準備と会報資料委員会へ記事提出のこと。

❯スマイルボックス

芝楽会（3,000円）　本日、芝楽会 役員会を開きました。コーヒー代のおつりを出宝します。

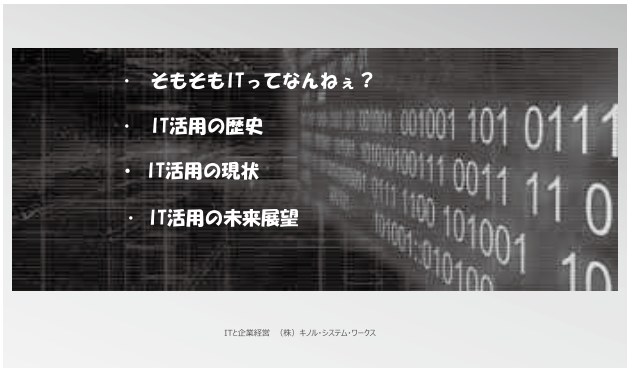
❯出席報告

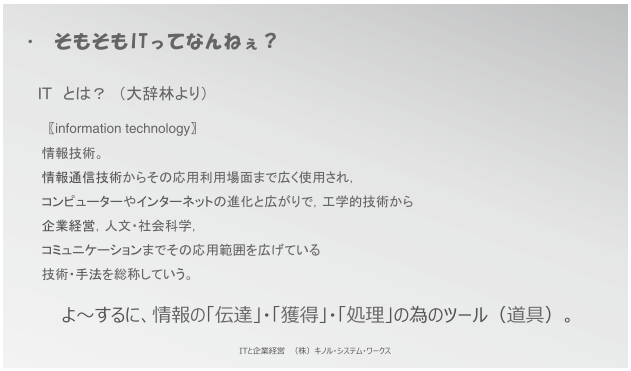
会員数 62名　出　席 46名　欠　席 16名
来　客　6名

❯プログラム

会員卓話「ITと企業経営」

谷口　公啓会員





・ IT（？）活用の歴史 （1-2）

「情報伝達」の為のツール（道具）。

・ IT（？）活用の歴史 （2）

「情報伝達（広告）」の為のツール（道具）。

・ IT（？）活用の歴史 （3）

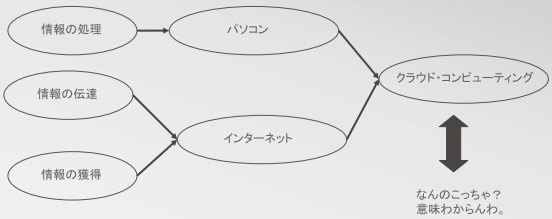
「情報獲得」の為のツール（道具）。

・ IT（？）活用の歴史 （4）

「情報処理」の為のツール（道具）。

・ IT活用の歴史 （5）＋ IT活用の現状

パソコン（パーソナル・コンピューター）の登場と、インターネットの出現



・ IT活用の未来展望 （1）

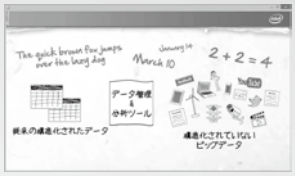
「クラウド（コンピューティング）ってなんなん？」 よ～わからんし？！

（動画による説明）

・ IT活用の未来展望 （2）

次に重要なのが、「ビッグ・データ」 「ビッグ・データ」って、何？ よ～わからん。

（動画による説明）



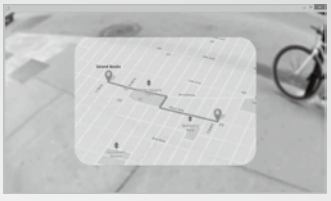
・ IT活用の未来展望 （3）

（例：動画による説明）

・ IT活用の未来展望 （4）

もっと解らん、未来のコンピューティング

（動画による説明）



・ IT活用の未来展望 （5）

よ～するに、どうしたらエエんや？

それは、業種・業態により、全くアプローチが違います。

よって、個別に谷口までお尋ねください！ (^^♪

kinol SYSTEM WORKS

ヒント1 マ〇クロソ〇トの「Wind●ws」は終わりの始まりを迎えているのははっきりしている。

ヒント2 パソコンとは何か？（今の形のものはほぼ無くなる。）

ヒント3 企業のITに対する投資が劇的に減る？ → 変容する。

6/17 第1322回例会
12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

ROTARY

ベネファクター表彰
田中茂樹会長

会長時間
皆さんこんにちは。来訪者の皆様ようこそお越し下さいました。ゆっくりと例会をお楽しみ下さい。

雨と暑い陽射しが交互に来るような身体にとっては厳しい季節になって参りました。体調など崩されませんようにお気をつけください。

先週、サッカーのワールドカップがブラジルで開幕しました。日曜日には日本は初戦でコートジボワールと対戦し、残念ながら逆転負けを喫しました。ＮＨＫのテレビ中継は視聴率が46.6％と今年最高だったそうですが、それだけたくさん悔しい思いをした方も多かったのではないでしょうか。ただ、残るギリシャ、コロンビアを撃破すれば、日本は決勝トナーメントに進むこともできます引き続き応援をしたいと思います。

孫子は「敵を知り､己をしれば百戦危うからず」と言いました｡それに倣うわけではありませんが、日本が対戦する３カ国がどんな国か、少し調べてみますと、各国とも日本にも縁の深い「世界一」があることがわかりましたので、ご披露したいと思います。

まずはコートジボワールです。この国は西アフリカにありまして、かつては「象牙海岸」と呼ばれておりました。その名の通り､「象牙」が特産品だったわけで、密猟された象牙が海岸に並べられ、先進国に向け、密かに運び出されていたことからその名が付いたそうであります。もちろん今は象牙取引はワシントン条約などで禁止されておりまして、今、コートジボワールの大きな輸出品で、世界最大の生産を誇っているのは「カカオ」であります。皆さまもお馴染みのチョコレートの原料です。

日本ではチョコレート原料と言いますと、某お菓子メーカーさんの「ガーナ・チョコレート」というのが有名でありまして､「カカオと言えばガーナ」と連想してしまうわけですが、生産量はガーナのお隣のコートジボワールが世界一で、世界の35％を占めているそうであります。このカカオは今、需要が急増しているそうで、コートジボワールでもカカオ農園を拡張しているそうですが、なぜかと申しますと、実は中国でチョコレートブームが起きているからだそうです。確かに北京や上海といった街では「ゴディバ」といった高級チョコレート専門店も見かけるようになりましたし、スーパーなどの棚にも様々なチョコレートが売られております。チョコレートは多くの人を魅了するものですが､まさに今､中国で需要が伸び始め､コートジボワールの景気を支えているそうです。

２番目のギリシャですが、この国の世界一はハーブ、つまり香草の種類で世界一だそうです。ハーブというのも本当にたくさんありますが、皆さんもお茶としてよく飲まれる「カモミール」や「ミント」､料理に使う「セージ」「オレガノ」､香りを楽しむ「ラベンダー」など様々ありますが､ギリシャには6000種類のハーブが自生し、それこそアテネとスパルタが栄えていたような古代ギリシャの時代から薬や料理、お茶などに活用されていたそうで、今でも中国の漢方薬にあたるような「ハーブ薬」もギリシャでは広く使われているそうです。ハーブの利用が活発で、ガーデン好きの英国でもハーブの種類は3000種類ほどですから､ギリシャは圧倒的に種類が豊富なわけで、実は日本にもいろんなギリシャ製ハーブが輸入されております。

３番目のコロンビアといいますと、同じ植物でも「麻薬」や「コーヒー」を連想される方が多いのではないでしょうか？確かに、かつては麻薬組織の「メデジン・カルテル」というのがコロンビアにあり、世界のコカインの80％を供給していたそうです。しかし、21世紀初めに政府が米国の協力も得て、この組織を解体した結果、今はコロンビアは麻薬とはまったく縁のない平和な国になっております。

今、この国の「世界一」はカーネーションだそうです。コロンビアは平地から高度3000メートル近くまで花の栽培地があるため、その気温差差を使って、同じ時期に季節の異なる様々な種類の花を生産できるそうで、特にカーネーションの栽培

に適し、世界の25％以上を生産しているそうです。日本とは太平洋をはさんだ、反対側にあるという地理的な便利さもあり、日本で「母の日」のカーネーションの80％はコロンビア産だそうです。

さて、次の日本の対戦は20日のギリシャ戦であります。ハーブティーなどを飲みながら観戦されてはいかがでしょうか？

➢幹事報告

クラブ月報配布の案内。／例会変更。／次週６月24日（火）は最終夜間例会（18：30から）。

➢スマイルボックス

スマイル委員会（佐藤二郎、俵雅之、田村英樹）（10,000円） スマイルボックスへの皆様の一年間のご支援に感謝し出宝致します。

芝楽会の結果（６月15日(日)　於：賀茂CC）

優勝　上田会員
２位　岩田会員
３位　山本（春）会員

➢出席報告

会員数 62名　出　席 49名　欠　席 13名
　　来　客　3名

➢プログラム

各委員長退任挨拶

出席委員会　　委員長　遠崎　秀一

１．ロータリーの心を学ぶ場である例会への出席については、方針通り100％出席を達成出来ました。
２．毎月第４例会で連続出席者の紹介と表彰を実施出来ました。
３．行事については担当各委員会、幹事等の協力を得て例会時に会員の参加を促し、メークアップについては欠席会員への注意喚起や情報提供を行いました。

個人的には出席委員長としてたびたび例会に参加出来ない状況でメイキャップばかり行っておりました。

出席委員のメンバー吉田さん、三好さんに大変ご迷惑をお掛けし、助けて頂きました。

当クラブとしても100％が達成出来たのも会員の皆様の意識の高さと思っております。

来年度も継続出来る事を願い、退任の挨拶とさせて頂きます。

今年一年、大変有り難うございました。

親睦家族活動委員会　　副委員長　小川　光博

河野前委員長が３月に転勤、退会されその後、副委員長の私に委員長代行をとの事で３カ月程代行を務めさせて頂きました。

と云っても私自身は引き継ぎ後、花見例会、新入会員歓迎会、最終夜間例会等、多々行事を担当させて頂きましたが、私自身はほとんど何もせず新藤委員はじめ、児玉、幸村、伊藤、山國、上田各委員にしっかりフォローして頂き、何とか無事に終える事が出来ました。

委員会の皆様には本当に感謝しています。どうも有り難うございました。

プログラム委員会　　委員長　平石　雅史

今年度は多くの新入会員卓話を計画していましたが､おかげ様で会員増強委員会のご尽力により､予定通り５回（計10人）の新入会員卓話を実施することができました。また､外部卓話については､会員の協力のもと、広島でご活躍の方々をお招きし、時節にちなんだものを実施できました。

恒例の特別強化月間にちなんだ卓話は、当該担当委員長の協力を仰ぎ、各月実施することができました。

また事務局の協力を得て、他クラブで好評だった外部卓話者を招くことができたのも良かったと思います。

一年間プログラムにご協力いただきありがとうございました。

広報雑誌委員会　　委員長　橋本　幸範

今年度は､毎月､委員会報告として､「ロータリーの友」（当月号）の記事を当クラブの会員の皆様に紹介し､「ロータリーの友」（前月号）を読んだ感想を当クラブの会員の方に報告していただきました。感想の報告をいただいた方々に御礼申し上げます。

前月号ではなく手許にある当月号の感想を話していただく方がよいとの指摘をいくつかいただきましたが、この点は改善できませんでした。

毎月報告することにより、私自身は､「ロータリーの友」を読むという習慣が身につきました。皆様は、いかがだったでしょうか。

また、下記の当クラブの奉仕活動の記事２件を「ロータリーの友」へ投稿し、掲載されました。

①「子どもたちとのボウリングと食事マナー研修会」
（根石会員　５月号）
②「紙芝居で語り継ぐ被災地の心」
（徳納会員　６月号）

１年前の就任時の活動計画としましては､他に､

マスコミへの情報提供なども掲げておりましたが、達成できず反省しております。

１年間ご協力いただきまして、ありがとうございました。

会報資料委員会　　委員長　對馬　久子

３年未満のロータリーの中身がよく理解できていない未熟な私は、会の活動状況を内外の方々にどのように伝えればいいのかわからないまま走り出しました。

毎月毎月、例会の会長時間は？卓話は？その他委員会の活動は？スマイルの自主申告は？行事は？と追いかけられっぱなしだったというのが実のところでした。

まだ前の月の会報を配布しない時期に、もう次の月の行事の把握等々・・・

本音を申し上げますと、じっくり内容の精査まで出来なかったというのが現実で、大変申し訳なく反省しております。

それでも何とか形にできたのは、仲田さん、棗田さんをはじめ多くの方々に支えられ、そして皆様方のご協力のおかげと心から感謝しております。

また、うるさく原稿のお願いで追っかけ回しましたことをこの場をおかりしてお詫び申し上げます。

このお役をさせて頂いたことにより、私自身が多くのことを勉強させて頂き、またロータリーのことをより知ることができたことと、会員の方々のお名前とお顔が覚えられたことです。

１年間本当にお世話になり、有難うございました。

会員増強委員会　　委員長　佐古　雄司

実施事項

・ロータリー入会案内パンフレットを100部購入
　１万円の費用
・委員会ＧＭを５回開催
・各委員会ＧＭへ会員増強の呼びかけの為参加

（結果）

・今期新入会員　10名
・会員純増数　　５名（57名スタート→62名）
・平均年齢　　59.74歳（スタート時　61.19歳）

会員皆さんのご協力のもと新入会員10名の入会がありました。また、当初スタート時点57名から現時点で62名と、純増５名になり大変感謝しています。ロータリーの入会案内パンフレットの活用も頂きながら、来年度へつながる候補者もまだまだいらっしゃる状況で引き継ぎさせていただきたいと思います。

会員選考・職業分類委員会　委員長　岡本　文治

１．広島西南ロータリークラブの職業分類表は2013.7.1前年度から引き続いた通りで、今期10名の入会予定者の選考と職業分類を行いました。
　目標会員数は期末70名でしたが、期末会員数は62名になりました。職業分類表は充填52、未充填61、合計113になっています。
２．会員候補者については、その都度理事会に報告して入会の手続を踏みましたが、今期の10名の入会者は極めて順調であります。これも、会員組織委員会宮本理事をはじめ、会員増強委員会の佐古さん、ロータリー情報委員会の佐々木さんほか、皆さんのおかげであります。
３．職業分類については、変更希望があればその都度対応調整しました。

ロータリー情報委員会　　委員長　佐々木　宏

１．全会員にロータリー情報マニュアル“わかりやすいロータリー”を配布しました。
　また新会員オリエンテーション用の参考資料を作成し新会員に配布しました。
２．本年度は10名の新会員を迎えました。
　入会後遅滞なく推薦者にも出席していただいてオリエンテーションを実施しました。
３．ロータリー情報勉強会を実施しました。
　勉強するだけではなく在籍年数の世代間を超えて交流が充分に図れる勉強会となることを目指しました。
　第１回12月３日　西南ロータリークラブの歩み
　　講師　曽里会員　出席者37名
　第２回３月18日　私のロータリーライフ
　　講師　室崎会員　出席者32名
　　親睦と奉仕
　　講師　佐々木会員
　第３回６月17日　新会員を囲んでのフリートーキング　出席者25名
４．１月のロータリー理解月間に因み１月28日に諏訪パストガバナーをお招きし“職業奉仕に思う”と題して卓話をしていただきました。
５．規定審議会の変更に伴い広島西南ロータリークラブ細則の改正を検討しました。

職業奉仕委員会　　委員長　佐藤　克則

職業奉仕の詳しい意味も知らないままに就任した職業奉仕委員長でしたが、お役目を果たす中、その意味するところも学んで行くことが出来ました。

本年度は新たに、優秀従業員の表彰制度を作り実行しました。企業活動を通じて職業奉仕を行う上で、従業員の行動には重要なものがあります。その中心となって行動してくれる優秀な従業員を表彰することは、意義のあることだと思います。

計画していた他の事業もおおむね実行出来ました。とりわけＧＭにご出席頂いた会員の皆様とは、職業奉仕についてのそれぞれに企業での実践状況と考え方についての交換を果たすことが出来、有意義な時間を過ごすことになったと思います。

皆様、ご協力有難うございました。

社会奉仕委員会　　委員長　寺本　真司

１年間、社会奉仕委員会の委員長を務めさせていただきました寺本真司です。広島西南ＲＣに入会して７年、色んな委員会に所属してまいりましたが、この委員会の継続事業である、宮島の桜と広域公園の梅のメンテナンス事業には造園業を営んでおるが故、ずっと携わってきておりましたので、その思いは特に強かったと思います。

また、紙芝居プロジェクトという形で福島の復興支援に参加させていただき彼の地に赴き、実状を目の当たりにする機会を得る事が出来ました。この経験は、それを皆さんにお伝えできたこと、また私自身にとっても大変意義深いことだと思いました。

多くのメンバー、事業に係った方々、徳納理事に感謝をして締め括りたいと思います、ありがとうございました。

国際奉仕・台北新東ＲＣ親善委員会
委員長　山下　幸彦

今年度は、国際奉仕の新たなプロジェクトを策定するためにカンボジアのココンを訪問し、ワットトマイの孤児の自立を支援するプロジェクトを調査しました。

また台北新東ＲＣとの創立30周年記念共同奉仕事業を、台北新東ＲＣとの合同クラブ協議会にて協議して､宮島の桜見学などを一緒に行いました。

２月には、世界理解月間に因んで国際奉仕について卓話を実施しました。

残念ながら、ロータリー財団委員会と協力し、「未来の夢計画」の理解を深める計画をしていましたが、行うことが出来ませんでした。

３月に広島国際センターひろしま日本語教室の代表の光原様他２名の留学生に卓話を頂き、広島国際センターひろしま日本語教室への支援を行いました。

皆様の多大なご協力により無事に行うことが出来ました。ありがとうございました。

青少年奉仕委員会　　委員長　根石　英行

今年度の青少年奉仕委員会は、心臓病の子供を守る会への支援と津田子どもの家の子供達との交流の事業を行いました。

心臓病の子供を守る会への支援活動は、昨年の久保委員長のときから始められましたが、今年度は10月27日の守る会の総会には田中会長も参加され、当クラブが後援したフォンタン手術に関する講演会は、患者家族や医療関係者が多数参加されて11月16日に開催されました。

今年の２月１日に行った津田子どもの家の子供達とのボーリングと食事マナー研修会の行事には､クラブからも18名もの会員にご参加いただき、子どもたちとも楽しい時間を過ごし、地域社会への奉仕活動の事例として「ロータリーの友５月号」に投稿記事が掲載されました。

森田副委員長や社会奉仕委員会の委員の皆さんをはじめとする会員の皆さんのご協力にお礼を申し上げたいと思います。

これまでのクラブとしての活動の実績を踏まえて、新しい視点を取り入れてより充実した活動になるように次年度の折本委員長に引き継いで行きたいと思います。次年度は、早速８月に、地区補助金を受けて、心臓病の子供を守る会の療育キャンプの開催が予定されています。引き続き皆様のご協力をお願い致します。

スマイル委員会　　委員長　佐藤　二郎

俵副委員長、田村委員の３名でスマイル委員会を担当しました。

皆様のご支援・ご協力により目標金額1,400千円に対し、1,543千円を超える浄財を提供頂き無事職務を全うすることが出来ました。

今年度は自己申告も数多く、また夏の花火観賞会でのバナナのたたき売り売上のスマイルボックスへの寄贈、新規会員のスマイルチケット代などもあり予想得以上の達成となりました。一年間有難うございました。

ロータリー財団委員会　　委員長　末廣　浩一郎

皆様、本年度一年間、本当にお世話になりました。財団委員長になった当初は財団についての知識もなく（今でも十分とは言えませんが)、平原

理事や梶本副委員長のお力添えのお蔭をもって、何とか一年間を過ごす事ができました。また、各種寄付についても快くご協力いただきました田中会長、桒田会員、橋本会員、徳納会員に心より御礼を申し上げます。会員の皆様には財団の活動に対して今後とも力強いご協力をいただきますようお願いを申し上げて、私の退任の挨拶と致したいと思います。ありがとうございました。

米山奨学委員会　　委員長　奥田　實

２月の定例卓話で報告させて頂きました通り、普通寄付並びに特別寄付、共に会員各位のご協力のおかげで今期の目標額を達成することができました。

それにより今期10名の方々が新たに準米山功労者となられ表彰されます。

昨年度の４月より当クラブで、お世話させていただいておりました中国からの留学生、黄正国（コウセイコク）さんが３月末で博士学位を授与され、支援が終了いたしました。

カウンセラーとして、お世話いただいた根石会員に厚く御礼を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

長期計画委員会　　委員長　佐々木　宏

本年度は新長期計画2013-16年を新たに策定する年度でした。

長期計画委員会を開催し会員全員に対して実施したアンケート及びフォーラムを参考として検討を行いました。その結果2013-16年長期計画を次の通りとすることとしました。

１．2010-2013年長期計画は当クラブの理念、行動指針等が格調高く示されており文言については修正しない。
２．創立30周年の記念事業を行うための特別委員会を設置することを追加した。
　その結果理事会で承認され30周年記念事業実行委員会が設置された。

事務局管理委員会　　委員長　先小山　英夫

この１年間、会員・事務局間の円滑な意思疎通を図ると共に適切で効率的な業務遂行のサポートを行う事を目標にしておりましたが、１年過ぎてみますと何の成果もなく会員各位並びに事務局のお役に立てなかった事を反省しております。

健康管理委員会　　委員長　荒木　攻

健康管理委員会は、会員が健康管理、病気予防についての意識を高める様、微力ながら活動しました。

５月の健康管理月間に先立ち、４月に脳ドックと心臓ドック及びPETの５月実施の案内をしました。５月に入り脳ドックと心臓ドックの具体的スケジュールの案内を配布しましたが、PETの案内が平和クリニックの手違いで間に合わず配布できませんでした。

又、会員の健康意識を高めるために、５月13日に「心臓のお話」と題して、荒木脳神経外科病院循環器専門医野村勝彦医師による例会卓話を行ないました。

しかしながら、実績は脳ドック１件にとどまりました。次年度は健康管理意識の向上のために何らかの工夫が必要と考えます。

6/24 第1321回例会

18:30～20:30　ANA クラウンプラザホテル

≫それでこそロータリー

≫連続出席100%

谷口　公啓会員（15年）

≫ホーム例会皆出席100%

岩田　智博会員　・　久保慎太郎会員
白築　忠治会員　・　杉川　　聡会員
児玉　栄威会員　・　田中　朋博会員 (2013/12～)

≫幹事報告

７月プログラム配布の案内。／７月卓話プログラムは、１日…理事役員就任挨拶、８日…委員長就任挨拶の予定。／今月は期末につき、必ず月内に会費支払のこと。／８月会費で同好会半期会費の請求希望がある同好会は、代表者名・メンバーを７月22日迄に事務局へ連絡のこと。

≫出席報告

会員数 62名　出　席 55名　欠　席　7名

≫プログラム

理事・役員退任挨拶

会長　田中　茂樹

この一年間皆様のご協力を頂きありがとうございました。おかげをもちまして何とか職責を果たす事ができました。

当初は、まず増員しなければ会の運営に支障が出るとの事で、前半は会員増強を重点に活動致しました。その結果、皆様のおかげで10名の増員をする事が出来ました。例年の梅林の掃除、宮島の桜の掃除・手入れ、本川での小学生カヌー体験、いわき市への紙芝居の提供、30周年の記念事業へ向けてのカンボジア視察、花見例会、創立記念例会、クリスマス例会、例会運営、ニコニコ箱、情報委員会の新会員研修等、役員並びに各理事、委員長、メンバーの方々の多大なるご協力により、長くて短い短くて長い様な１年間が終了致しました。

例年は主に参加するだけでしたが、運営する事の大変さとメンバーの皆様の厚い友情を感じた一年でした。本当に貴重な体験をさせて頂きました事に感謝申し上げますと共に、皆様の友情に深く感謝申し上げます。また事務局の近松さんにも一年間を勝手致しましたが厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。次年度の林本会長のご活躍を祈念致しております。

副会長　林本　正継

今年度、副会長を務めさせていただき、会長に次いでのクラブ行事への参加、理事役員会やクラブフォーラムへの出席、閉会挨拶、そして会長エレクトとしてPETS研修や地区研修等、様々な経験をさせていただきながら、クラブ運営をみさせていただきロータリーとは何か、自分にとってのロータリーとは等いろいろ学ばせていただくことができました。まさに「ロータリーは人生の学び舎」との思いを強くした一年でした。今年度の経験を糧に次年度に向けしっかりと頑張ってまいりたいと思います。一年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

直前会長　曽里　裕

会長は前後に会長エレクト、直前会長と各々の役目があり、やっと３年間を全うした気分で肩の荷が下りました。田中会長におかれましては大変ご苦労様でした。また林本会長エレクト、木村会長ノミニーにはこれからよろしくお願い致します。本年度の感謝と次年度へ向けてのエールを贈って退任のご挨拶と致します。

幹事　杉川　聡

２回目の幹事を無事終える事が出来、正直ほっとしています。

田中会長、林本副会長、曽里直前会長、杉本副幹事、岩田副幹事には、１年間本当にお世話になりました。大きなトラブルも無く、１年が無事終了出来ました事、心より御礼を申し上げます。

本年度は、「学んで 楽しもう ロータリー」と言う会長テーマに沿い、理事役員の方達を中心に、積極的に事業を展開して頂きました。特に、10名の会員増強が出来ました事や、ロータリー財団の補助金を活用した奉仕活動が出来ました事、本当に充実した１年を経験させて頂きました。

新入会員の皆様には、ロータリー情報委員会に積極的に参加頂き、内容の濃い勉強会が出来ました。親睦家族活動委員会の皆様には、花火観賞例会を始め１年間楽しい懇親会を企画して頂き本当に有り難うございました。幹事の役割は、会長テーマを具現化して行くことに尽きると思っています。そういう意味からすると、今年度は会員の皆様には、１年間大いに学んで頂き、大いに楽しんで頂けたと思っております。

最後になりますが、入会以来17年間で２度目のホーム全出席を達成出来ました。前回も幹事をさせて頂いた時でした。今後は、幹事の時以外でもホーム全出席が出来ますよう精進して参ります。

本当に、１年間お世話になりました。心より御礼申し上げます。

副幹事　杉本　清英

今年度、副幹事を担当しました杉本です。大らかな田中会長と緻密な杉川幹事の下で岩田副幹事と一緒に、クラブ運営のお手伝いをしました。執行部に入るのは初めての経験でしたので戸惑うことばかりでしたが、皆様のご理解とご協力により、何とか乗り切ることができました。皆様に心より感謝いたします。

私にとって大きな出来事だったのは、年度半ばに会社からロータリークラブを退会するよう通達があったことでした。杉川幹事に報告したところ、ロータリークラブではなく転職することになってしまいました。お蔭で副幹事を途中降板することもなく今日の最終夜間例会を迎えることができました。

最後に会員の皆様のますますのロータリー活動の充実と健康を祈念して、退任の挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

副幹事　岩田　智博

副幹事の退任にあたり、会員の皆様には１年間お世話になりありがとうございました。

田中会長、杉川幹事のご指導の下、杉本さんと１年間副幹事を務めさせていただきました。

クラブ運営について全く経験のない私にとっては貴重な経験になりました。大きな事件も起こらず、無事１年間休まず副幹事を務められたのも皆様のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。

理事（クラブ管理運営委員長）

室﨑　雅宣

今年度、出席委員会、親睦家族活動委員会、プログラム委員会の３委員会で進めてきましたが、それぞれ遠崎委員長、河野委員長、平石委員長はじめ各委員のかたがたのご協力を頂き、当初の計画通りの事業を遂行することができました。

出席委員会は、委員長みずからメークアップを確実に実行することによって西南ロータリークラブの伝統であります100パーセント出席を維持することができました。親睦家族活動委員会では、初めての花火鑑賞会も事前の念入りな準備のおかげで、皆さんにたいへん楽しんでもらうことができ、成功裡に終えることができました。その他の特別例会、歓迎会等についても、頻繁にＧＭを開催し、みずから親睦をはかりながら、無事終えることができました。プログラム委員会では、外部・内部の卓話をおりまぜて、知識を増やしながら、楽しむことができました。

クラブ管理運営委員会としては、皆さんのご協力を得ながら、参加意識を高めることにより、当初の会長の学んで楽しもうという方針に、微力ながら答えられたように思います。委員はじめご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

この１年間有難うございました。

理事（クラブ広報委員長）

山本　恭瑚

実施事項

１．「ロータリーの友」誌へは、全国のロータリアンに当西南ロータリークラブの活動を紹介すべく例年以上に投稿が出来、掲載されました（２回）。

２．会員への「ロータリーの友」の記事の紹介も、計画通り毎月会員にスピーチを依頼し、実施することができました。

３．従来通りホームページにタイムリーにアップされています。

理事（会員組織委員長）

宮本　昇

皆様、会員組織委員会の理事として１年間、勤めさせて頂き、無事に終了を迎えた宮本です。本当に有難うございました。

田中会長の会長方針に基づき、新入会員の勧誘に皆様の力を頂き取り組んで10名と沢山の新入会員が入会して頂き、職業分類も滞りなく終える事ができました。

又、新入会員の教育と退会防止の為にも定期的にロータリー情報委員会主催のＧＭを開催させて頂き、その都度沢山の参加で、西南ロータリーのルーツを学び、各委員長殿の苦労と成果には敬意を表します。

最後になりますが、元気で明るい田中会長を男にする為の目的で、理事として勤めさせて頂きました。有難うございます。

理事（奉仕プロジェクト委員長）
徳納　武使

本年度、奉仕プロジェクト委員会はそれぞれの委員長のご活躍で無事に予定していた事業を完了することができました。

ありがとうございました。

理事（財団委員長）
平原　一彦

今年度財団委員長を務めました、平原です。

今年度の財団委員会は、ロータリー財団委員会に末廣委員長・梶本副委員長、また、米山奨学委員会は奥田委員長・萬歳副委員長で一年間運営してまいりました。

田中会長にベネファクターになって頂いたほか、沢山の会員に善意のご寄付を頂き、両委員会とも地区目標の寄付金額を達成することが出来ました。

ロータリー財団委員会は、奉仕プロジェクト委員会と連携し、新地区補助金の申請を行い承認されました。新地区補助金の確保は、二年連続の快挙です。

米山奨学委員会は、中国人留学生「黄正国」さんのカウンセラーを根石会員に引き受けていただき支援をしました。

ご報告しましたように、会員の皆さんの善意のご寄付は有効に活用されていることをご報告して退任の挨拶とさせていただきます。

S. A. A.　久保　慎太郎

何の経験もない私が、例会場の秩序を保つためにあらゆる権限をもつ役となってしまって何をどうすればよいものかと思いましたが、皆様のご協力の元、無事１年間努めることが出来ました。

就任挨拶の際、“分かってきた頃には、任期を終える頃なのだろう”と申し上げましたが、やはりその通りでした。

長く感じられましたが、このタスキをつけているのも、もう最後かと思うと、少し寂しい気がしています。

不行き届きな点もたくさんあったかと思いますが、本当にありがとうございました。

会計　石井　和彦

予算執行にあたり、理事会との調整を諮り円滑なクラブ運営のもと、スマイル及び百万ドル会計も順調に推移し、健全な会計運営が出来ました。会員の皆様のご協力に心よりお礼を申し上げ、退任の挨拶とさせて頂きます。

有難うございました。

ロータリー情報勉強会

2014年６月17日、ホテルJALシティ広島にて本年度３回目の「ロータリー情報勉強会」が開催されました。

以前、会員全員から寄せられた「私のロータリー・ライフ」から抜粋した資料を基に、新会員10名と本年度の執行部、次年度執行部、そして本年度と次年度のロータリー情報委員会のメンバー10人の合計20名で、熱心な意見交換、討議が行われました。

DONATION

	６　月	年度累計
スマイル	35,000円	873,000円
善意の箱	9,183円	144,115円
100万ドル	51,198円	625,938円

掲　示　板

７月行事予定

※７月１日（火）13：45～
　第１回理事役員会　　ANAホテル4F
　（集合写真撮影）
※７月８日（火）13：45～
　第１回クラブ協議会　　ANAホテル4F
※７月26日（土）夜～
　花火鑑賞家族例会
　　グランドプリンスホテル広島

イピル・イピルの会主催
「平和への願い」in サラエボ作品展
展示のご案内

６月12日～25日までサラエボで行いましたこどもスケッチ大会の入賞作品展を広島留学生会館１ホールにて展示しています。

お時間のある方は、是非とも留学生会館にお越しください。

木村恭之

「平和への願い」in サラエボ作品展

イピル・イピルの会ではボスニア紛争*後の新生ボスニア・ヘルツェゴビナ（BiH）に 2002 年より桜を日本から「平和のシンボル」としてサラエボを始め他５都市に寄贈し続け、10 年を経たサラエボの桜は見事に成長し、街を彩り、人々の心を和ませています。現在では BiH への桜の寄贈本数は 1,750 本になります。

2014 年 7 月には第一次世界大戦**100 周年をむかえます。この節目の年に大戦の発端となる事件が起きたサラエボで桜が開花する 4 月中旬に市の協力を得、「平和への願い」と題したスケッチ大会を９校が参加し開催しました。ボスニア紛争から時が経ち、今では絵を描いた子供達は紛争を知りません。その子供達へ「平和の大切さ」を伝えたいとの思いでこのスケッチ大会を毎年開催の予定です。子供達の絵の様に世界中から戦争や紛争が無くなり、次の世代を担う世界の子供達が与えられた人生を人並みに享受し、教育を受ける機会を得、家族と幸せに暮らす事が出来るように願ってやみません。

作品選考基準は「平和のシンボル」の桜や民族の壁を越え「平和を願う」思いが描かれているもの、また１校１作品のみの出展は優先しました。入賞作品は国際交流の一環としてここに展示いたします。

また、開催にあたりご協力頂いたサラエボ市、日本大使館、国際協力機構(JICA)、中国新聞社、目黒区国際交流協会(MIFA)、サクラクレパス、オシム前日本代表監督には心からお礼を申し上げます。

2014 年 5 月　イピル・イピルの会
代表　伊藤登志子

*ボスニア紛争
旧ユーゴスラビアが崩壊し、1992~1995 年の 3 年に亘り三民族（ボスニアック、クロアチア、セルビア）が熾烈な戦いを繰り広げました。1995 年 11 月デイトン和平合意を持って終結し、新生ボスニア・ヘルツェゴビナ（BiH）が誕生しました。1995 年より日本国からは復興に向け JICA を通して多くの支援が行われています。独立後の 1998 年には新生 BiH として長野冬季オリンピックに初参加いたしました。

**第一次世界大戦
この戦争は当時、オーストリア・ハンガリー帝国の皇太子夫妻がサラエボ市をパレード中に旧市街にあるラテン橋の前で暗殺された事が発端となりました。

2014. 5. 15 現在

イピル・イピルの会
当会は主婦のボランティア・グループです
1985 年設立

会の名称はフィリピンで生育する木の名前「イピル・イピル」に由来します。1985 年にマニラで活動を始める。当初はフィリピンの山岳民族の子弟教育支援であったが、1986 年に大岡山ルーテル幼稚園の母親有志によるボランティア・グループとして活動を継続する。教育支援と共に災害被災地支援、人道的支援、機材支援などをフィリピン、ルワンダ、タンザニア、トルコ、ポーランド、エリトリア、ボスニア・ヘルツェゴビナなどに行っています。

ボスニア紛争後の 1998 年に脳性麻痺身体障害者協会に車寄贈の為、ボスニア・ヘルツェゴビナ国を訪問。この時、全土を廻り、戦争で精神的に疲弊した人々との出会い、破壊された自然や経済的に破綻し貧困に喘ぐ人々の様子を目にして「平和」の大切さを痛感する。2001 年からは紛争で引き裂かれた民族の「平和的な共存」を目指し、日本の桜が人々の心を和ませ、日本の様に桜の下に集い、楽しみを分かちあう日が到来するように、そして共に桜を愛でる日がくる事を祈り、「平和との共存」を願う「平和のシンボル」として桜を寄贈植樹し、管理育成の支援を行っております。

2010 年までに 5 回にわたり、三民族平等にという理念の基にボスニア・ヘルツェゴビナの主要 6 都市に計 1750 本の桜を寄贈いたしました。サラエボ市には 1140 本の桜を寄贈し、ゼトラ公園墓地などに植えています。ゼトラ公園墓地は冬季オリンピック会場の側にあり、旧サッカー場跡地を含む三民族共有の墓地で宗教団体の管理下にあります。ゼトラとは「皆が集まる場所」という意味だそうです。他にオリンピック村跡地、国際スイミング・プール周り、ハスタハナ公園などに植樹しています。また、ツズラ市に 50 本、世界遺産のあるモスタル市に 100 本、バニャルカ市に 300 本、ビハチ市に 100 本、ビイェリナ市に 60 本の桜を「平和のシンボル」として寄贈いたしました。現在は技術指導、管理育成指導の為に造園家の派遣を中心に活動を続けています。ボスニア・ヘルツェゴビナの人々の心を和ませ、より良き共存を目指すシンボルとして大きく花開く事を願っています。これからは日本とボスニア・ヘルツェゴビナの友好の懸け橋として活動を続けます。

2011 年の震災後は震災を忘れる事なく語り継ぐ物として、人々の心が和むように、被災地の方々が復興へ向け希望を持ち過ごされる事を願い「希望の木」として寄贈植樹しています。「岩手から福島まで桜並木で被災者が手を繋ぎ復興へ向け歩みたい」との被災地からの願いに応え桜の寄贈植樹活動をボスニア同様に続けております。これまでに気仙沼市（4 回）、岩手県野田村（2 回）、田野畑村（2 回）、普代村、岩泉町（3 回）、山田町へ計 786 本の桜と石巻ヘアジサイを寄贈しています。

当会は JICA 地球ひろば、目黒区国際交流協会の登録団体です。2013 年 3 月には「愛・地球博ボランティアセンター」より奨励賞を受賞しています。

イピル・イピルの会
代表　伊藤登志子

http://www.geocities.jp/ipilipil_nokai/

桜基金振り込み先：城南信用金庫　大岡山支店（普）328200
イピル・イピルの会　伊藤登志子

６月の会員記念日

会員誕生日

佐藤　克則	１日
平石　雅史	３日
對馬　久子	10日
谷口　公啓	12日
宮﨑　　真	17日
折本　　緑	23日

結婚記念日

俵　　雅之	１日	久保慎太郎	10日
先小山英夫	１日	遠崎　秀一	20日
末廣浩一郎	８日		

入　会　月

宮本　　昇	H11年
森田由美子	H22年
林　　暢也	H25年

パートナー誕生日

藤崎健次郎夫人	弘 美様	２日
濵田　公璽夫人	節 子様	17日
新藤幸次郎夫人	有 香様	27日

創　業　月

棗田　博正	広島シティ法律事務所	H20年	
仲田　淳嗣	㈱ハイエレコン	S57年	
寺本　真司	㈱寺本緑化建設	S37年	
宮﨑　　真	㈱ニシキプリント	S42年	

2013-2014年度　第12回理事・役員会　議事録

日　時：2014年６月３日　13時45分～ 15時00分
場　所：ＡＮＡクラウンプラザ広島
出席者：田中・林本・杉川・室崎・山本・宮本
　　徳納・平原・久保・石井・岩田・杉本

・会長挨拶（田中会長）

今日が最後の理事役員会になると思います。皆様のご協力で無事今年度を終了することができそうです。最後まで宜しくお願いします。

・議事

①新旧引継正副会長幹事会報告　（田中会長）

５月23日、メルパルク広島にて今年度会長・幹事、次年度会長・幹事が集まって無事引継ぎが終わりました。

（林本副会長）

改めて広島西南ロータリークラブの優秀さを感じました。

②事業報告の進捗状況について　（杉川幹事）

提出期限○小委員会委員長→
　　理事　６月３日締切
現在の提出状況　室崎理事　１／３
　　宮本理事　２／３
　　山本理事　０／２
　　平原理事　１／２
　　徳納理事　０／４

督促をして今週末にはまとめて頂いて来週火曜日には幹事に提出

③クラブ例会費値上げについて（1,000円アップ）
（室崎理事）

事業計画を立て、それに合わせて予算を組んでみたが随分膨らんでしまった。消費税の増税や諸物価の上昇も相まって例会費の値上げもやむを得ないということになった。

月々の例会費を17,500円から18,500円に値上げしたい。…反対なし（クラブ運営費は据え置き）

④５月度会計報告

６月会費は６月20日までに振り込んで頂くと未収入金として残らない。決算月は協力お願いします。100万ドル基金で、ロータリー財団に約67,000円寄付を拠出、残りはスマイルに繰り越す。スマイルも最後まで頑張って予算より20万円アップの実績にして頂きたい。入会金と年会費で50万円ぐらい増えた。

⑤各理事役員報告　（杉川幹事）

室崎理事　親睦委員会が最後の夜間例会を残すのみとなりました。出席も100％を維持しています。滞りなく終了する見込みです。

久保理事　順調に終了する予定です。

宮本理事　６月17日にロータリー情報委員会がある。

山本理事　６月の会報が残っている。今日最終の新旧広報委員会のＧＭを行う。

石井会計　ありがとうございました。順調に推移しています。

平原理事　米山奨学委員会から事業報告を頂いています。寄付の方も目標を達成する予定です。未来の夢計画も素晴らしい成果を上げた。次年度の補助金も内定している。

徳納理事　広域公園の梅の収穫を６月15日に行います。市側の要望で市民と一緒に行います。

⑥その他

６月24日プログラム準備のお願い　（室崎理事）

６月24日最終夜間例会の理事挨拶の原稿をお願いします。

お誕生月乾杯ワインについて

毎月第一例会の時ワインで乾杯しています。通常5,000円のワインを３本使っている。年間18万円かかっている。車で来られる方が多いし他クラブを調べると野菜ジュースが多い。S.A.Aと幹事の判断で決める。

（岩田副幹事）

無事司会業を終了することができました。

（杉本副幹事）

６月に入って例会の不手際が続いて申し訳ございません。またこの議事録を書いたらようやく解放されるのでほっとしています。

110周年事業の件　（室崎理事）

ロータリー110周年に際してアンケートが来ている。単独で事業を行うか、合同で行うか、やらないか。…単独ではやらない。当番クラブがやるのであれば支援。

・閉会の挨拶　（林本副会長）

最終理事役員会になりました。田中会長、杉川幹事お疲れ様でした。会員増強に象徴された様に今年度は大変盛り上がった。次年度も引き続き、地区補助金も下りることになった。心臓病の子供達の支援がメインになる。広島西ロータリークラブの会員の方から地区研修の徳納理事の報告は素晴らしかったと言う話があった。次年度の協力も宜しくお願いします。

広島西南RC　５月度個人別出席状況一覧表

（メークアップ期間の都合上１ヶ月前を掲載しております）

	氏　名	6(休会)	13	20	27	出席率
1	荒木　攻		○	○	△	100%
2	萬歳　幸治		○	○	△	100%
3	平原　一彦		○	○	○	100%
4	林本　正継		○	○	○	100%
5	平石　雅史		○	○	△	100%
6	橋本　幸範		○	○	△	100%
7	林　暢也		△	△	△	100%
8	石井　和彦		△	△	○	100%
9	池久保光治		○	○	○	100%
10	岩田　智博		○	○	○	100%
11	梶本　尚揮		○	○	○	100%
12	木村　恭之		△	○	○	100%
13	久保慎太郎		○	○	○	100%
14	棗田　博正		○	○	△	100%
15	三好　清隆		○	△	○	100%
16	村尾　博司		○	△	△	100%
17	宮本　昇		○	△	○	100%
18	室﨑　雅宣		○	○	○	100%
19	森田由美子		○	○	○	100%
20	宮本　晋一		○	○	○	100%
21	根石　英行		○	△	○	100%
22	仲田　淳嗣		△	○	○	100%
23	岡本　文治		○	○	○	100%
24	奥田　實		○	○	○	100%
25	大野　忠		×	×	×	0%
26	小川　光博		△	○	△	100%
27	岡本　俊雄		△	△	○	100%
28	折本　緑		○	○	○	100%
29	佐々木　宏		○	○	△	100%
30	白築　忠治		○	○	○	100%
31	曽里　裕		○	○	○	100%
32	杉川　聡		○	○	○	100%

	氏　名	6(休会)	13	20	27	出席率
33	先小山英夫		○	△	△	100%
34	佐藤　二郎		○	○	△	100%
35	佐藤　克則		○	△	○	100%
36	杉本　清英		○	○	△	100%
37	末廣浩一郎		○	△	○	100%
38	佐々木信幸		○	○	○	100%
39	佐古　雄司		○	○	○	100%
40	新藤幸次郎		○	○	○	100%
41	田中　茂樹		△	△	○	100%
42	谷口　公啓		○	○	○	100%
43	遠崎　秀一		○	△	△	100%
44	寺本　真司		○	○	○	100%
45	俵　雅之		○	△	○	100%
46	徳納　武使		○	○	△	100%
47	對馬　久子		△	○	○	100%
48	山本　豊		○	○	○	100%
49	山下　哲夫		○	△	○	100%
50	吉田　栄壮		○	○	○	100%
51	山下　幸彦		○	○	○	100%
52	山本　春男		○	○	△	100%
53	山本　恭瑚		○	○	△	100%
54	濵田　公璽		○	○	○	100%
55	児玉　栄威		○	○	○	100%
56	田村　英樹		○	○	△	100%
57	幸村　憲治		△	△	○	100%
58	伊藤　英彦		○	○	○	100%
59	田中　朋博		○	○	○	100%
60	宮﨑　真		○	△	○	100%
61	山國　豊		○	○	○	100%
62	上田　直治		○	○	○	100%
63	藤崎健次郎		○	○	○	100%

名…名誉会員　■…出席免除会員　○…ホームクラブ出席　△…メークアップ　×…欠席

編集後記

何とか１年間、月報を発行することが出来ました。

奉仕の理念を奨励するロータリーの目的に沿った内容をお届けできたか不安です。

多くの方々のご協力により、紙面に穴を開けることもなく最終号を迎えホッと、でもちょっぴり淋しい気持ちの入り混じった複雑な心境です。

ともかくお世話になりました。本当に有難うございました。

（對馬　久子）

2014年７月15日

発　行　広島西南ロータリークラブ
会長　田中茂樹　幹事　杉川　聡
事務所　広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル13F
TEL 082-221-4894　FAX 082-221-4870

編　集　会報資料委員会

最終夜間例会　2014. 6. 24

１年間おつかれさまでした

2013～2014年度 広島西南ロータリークラブ 理事役員